

送ることば

あたたかな日差しとともに、正門へ続く桜並木のつぼみも、少しずつ膨らみ始めました。

未来に向かって新たな一步を踏み出す3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。思い出を振り返ると、先輩方はいつも私たちのそばにいて、優しく背中を押してくださいました。そんな先輩方と過ごした時間は、私たちにとってかけがえのないものでした。

私たちが初めて先輩方のあたたかさに触れたのは、入学前に送ってくださった動画でした。中学校に進学することに大きな不安を抱いていた私は、楽しそうに中学校を紹介してくださる先輩方の姿を見て、とても安心したのを覚えています。先輩方と、この竜神中学校で過ごす日々がとても楽しみになりました。

最高に盛り上がった闘竜祭。

「一竜人たちの宴～仲間と共に作り上げる白熱の物語」というスローガンの通り、先輩方はパワーあふれる行動力で、常に一流を目指していました。

団応援の練習では、恥ずかしさからなかなか声が出せなかった私たちに、全力で声を出し、振り切った演技をするカッコよさを教えてくださいました。どんなに暑くても、どんなに疲れても、どんなに声がかけても、決して手を抜かない先輩方の姿を見て、私たちも少しずつ声が出せるようになりました。闘竜祭当日、団応援を全力でやり切ったときの感動とすがすがしい気持ちは、今でも忘れられません。

最優秀賞を目指して毎日練習を重ねた虹竜祭。

歌い合わせでは、間近で先輩方の合唱を聴き、美しい歌声とあふれる気迫に圧倒されました。先輩方の真剣なまなざしからは、賞を取りたいという思いだけでなく人を感動させたいという思いも伝わってきました。

私たちも、聴いている人の心を動かすような合唱をしたいと、強く思いました。

部活動では、先輩方は常に私たちの前を歩き、道を示してくれました。

最後の夏の大会。苦しいゲーム展開に心が折れそうな状況の中でも、スマッシュを放った先輩。決して受け身にならず、常に勝利を求めて攻めにいく姿は、今も私たちの目に焼き付いています。

2年生になり自分が試合に出るようになった今、先輩の勝負にかける思いの強さを改めて感じ、先輩に一步でも近づけるように、これからも頑張りたいと思っています。

【合唱「時をこえて」】

名残はつきませんが、いよいよお別れの時です。明日から頼りになる先輩方がいなくなると思うと、心細い気持ちでいっぱいですが、先輩方から学んだことを胸に刻み、竜神中学校の誇りと伝統をしっかりと受け継いでいきます。

卒業される先輩方にとって、今日はゴールであると同時に新しい生活へのスタートでもあります。新しい場所に進まれても、一步一步、ご自分の道を歩んでいってください。そして私たちの憧れの先輩として、いつまでも輝き続けてください。

今後のみなさんのご活躍と輝かしい未来をお祈りして、私たち在校生からの送ることばといたします。

令和7年3月7日

在校生代表